

2016年5月10日 全8頁

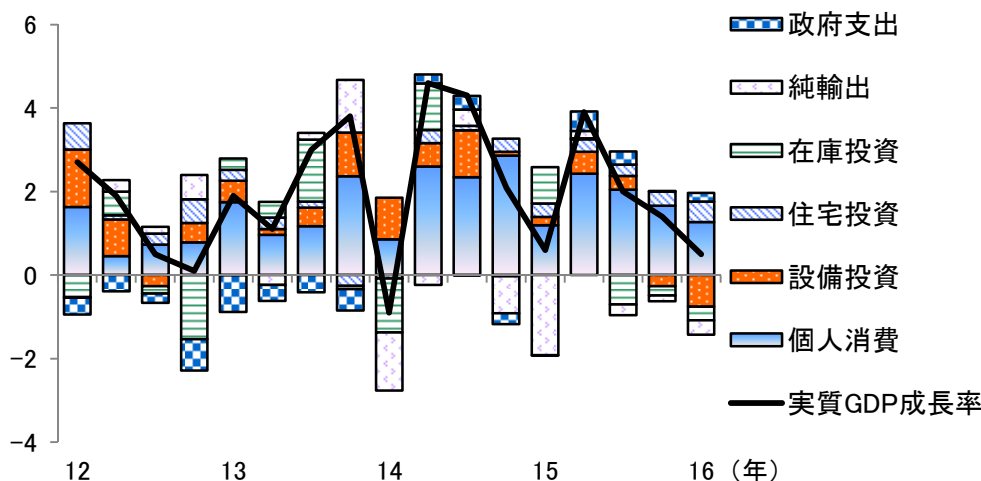
アメリカ経済グラフポケット (2016年5月号)

2016年5月9日発表分までの主要経済指標

ニューヨークリサーチセンター
エコノミスト 橋本 政彦

実質GDPの推移

(前期比年率、%、%pt)



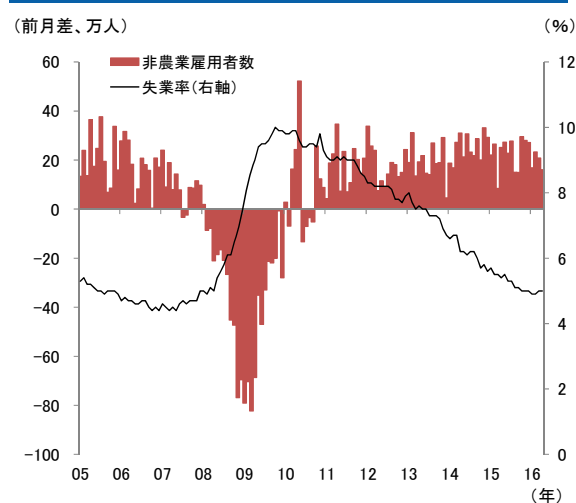
| (前期比年率、%、%pt) | 2014 | | | 2015 | | | 2016 |
|---------------|------|------|-------|------|------|------|-------|
| | 4-6 | 7-9 | 10-12 | 1-3 | 4-6 | 7-9 | 10-12 |
| 国内総生産 | 4.6 | 4.3 | 2.1 | 0.6 | 3.9 | 2.0 | 1.4 |
| 個人消費 | 3.8 | 3.5 | 4.3 | 1.8 | 3.6 | 3.0 | 2.4 |
| 設備投資 | 4.4 | 9.0 | 0.7 | 1.6 | 4.1 | 2.6 | -2.1 |
| 住宅投資 | 10.4 | 3.4 | 10.0 | 10.1 | 9.3 | 8.2 | 10.1 |
| 政府支出 | 1.2 | 1.8 | -1.4 | -0.1 | 2.6 | 1.8 | 0.1 |
| 輸出 | 9.8 | 1.8 | 5.4 | -6.0 | 5.1 | 0.7 | -2.0 |
| 輸入 | 9.6 | -0.8 | 10.3 | 7.1 | 3.0 | 2.3 | -0.7 |
| 寄与度 | | | | | | | |
| 個人消費 | 2.6 | 2.3 | 2.9 | 1.2 | 2.4 | 2.0 | 1.7 |
| 設備投資 | 0.6 | 1.1 | 0.1 | 0.2 | 0.5 | 0.3 | -0.3 |
| 住宅投資 | 0.3 | 0.1 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 0.3 |
| 在庫投資 | 1.1 | 0.0 | 0.0 | 0.9 | 0.0 | -0.7 | -0.2 |
| 政府支出 | 0.2 | 0.3 | -0.3 | 0.0 | 0.5 | 0.3 | 0.0 |
| 輸出 | 1.3 | 0.2 | 0.7 | -0.8 | 0.6 | 0.1 | -0.3 |
| 輸入 | -1.5 | 0.2 | -1.6 | -1.1 | -0.5 | -0.4 | 0.1 |

(出所) BEA, Haver Analyticsより大和総研作成

雇用環境¹

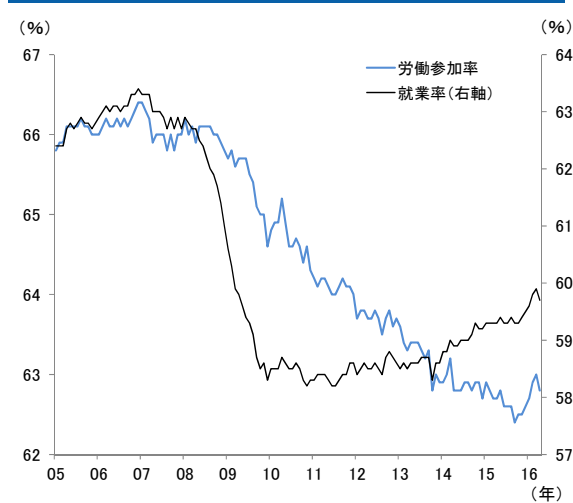
- ◆ 2016年4月の失業率は5.0%となり、前月から横ばいとなった。失業者数は前月から減少したものの、労働参加率が前月から低下し、就業者数は7ヵ月ぶりの減少に転じた。
- ◆ 4月の非農業雇用者数の前月差は16.0万人増となった。非農業雇用者数の前月差の6ヵ月平均は22.0万人増であった。

非農業雇用者数と失業率



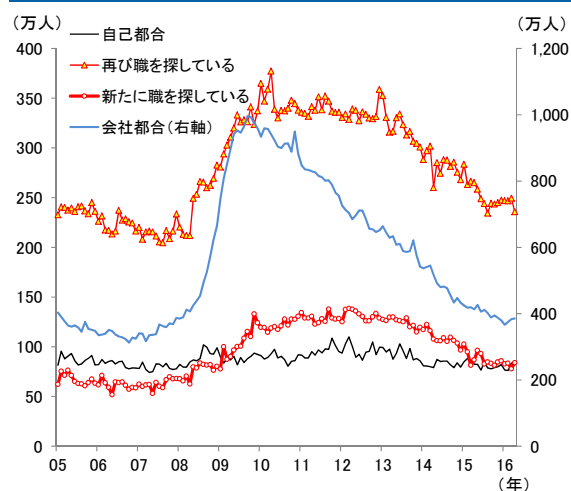
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

労働参加率と就業率



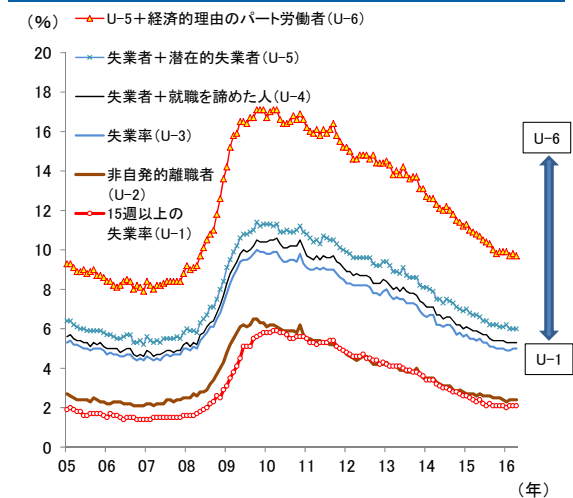
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

理由別失業者数



(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

定義別失業率



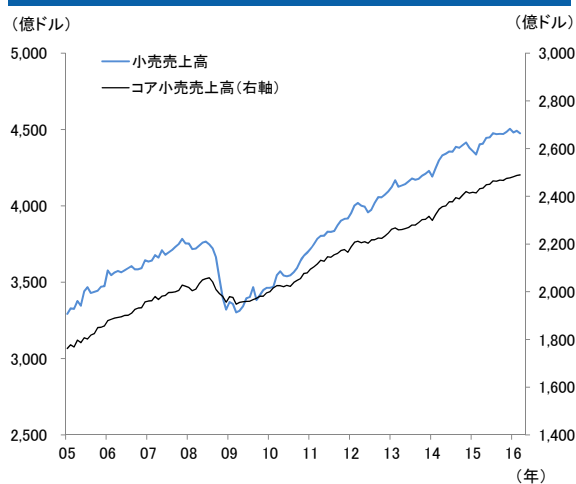
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

¹ 大和総研 ニューヨークリサーチセンター 橋本政彦「消費の減速が雇用者数を下押し」(2016年5月9日)参照。http://www.dir.co.jp/research/report/overseas/usa/20160509_010872.html

個人消費

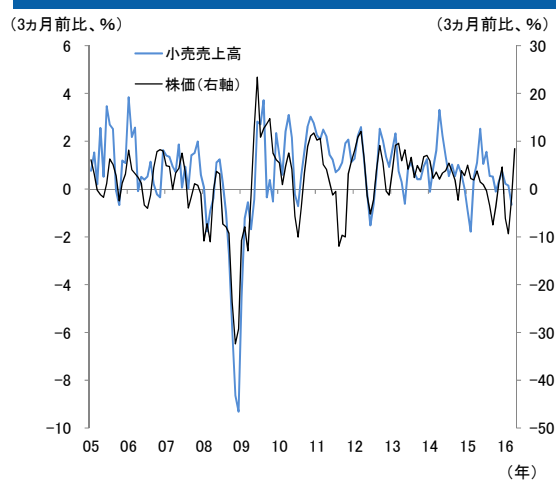
- ◆ 2016年3月の小売売上高は前月比0.4%減少した。一方、コア小売売上高は同0.1%と、5ヵ月連続で増加した。
- ◆ 4月の自動車販売台数は前月比5.1%増加し、年率換算で1,742万台であった。とりわけライトトラックの大幅な増加が押し上げ要因となり、3ヵ月ぶりの増加に転じた。
- ◆ 4月のロイター/ミシガン大消費者センチメントは、前月の91.0から89.0へと低下した。現況指数が前月から改善する一方で期待指数が低下し、4ヵ月連続の低下となった。

小売売上高の推移



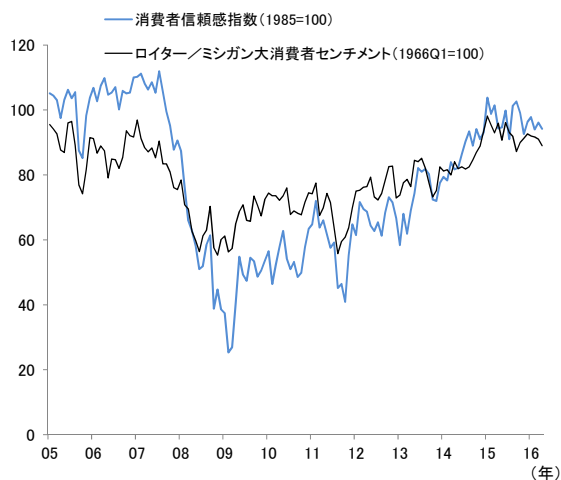
(注)コア小売売上高は自動車ディーラー、ガソリンスタンド、建材・園芸、飲食サービスを除く。
(出所)Census, Haver Analyticsより大和総研作成

消費と株価



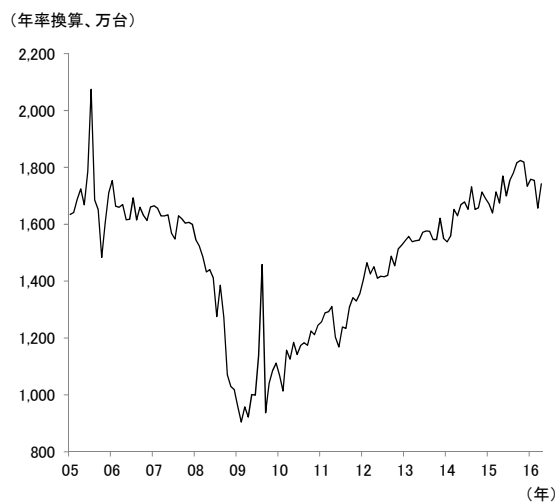
(注)株価はWilshire5000。
(出所)Census, Dow Jones, Haver Analyticsより大和総研作成

消費者マインド



(出所)ロイター/ミシガン大, Conference Board, Haver Analyticsより大和総研作成

自動車販売台数



(出所)Autodata, Haver Analyticsより大和総研作成

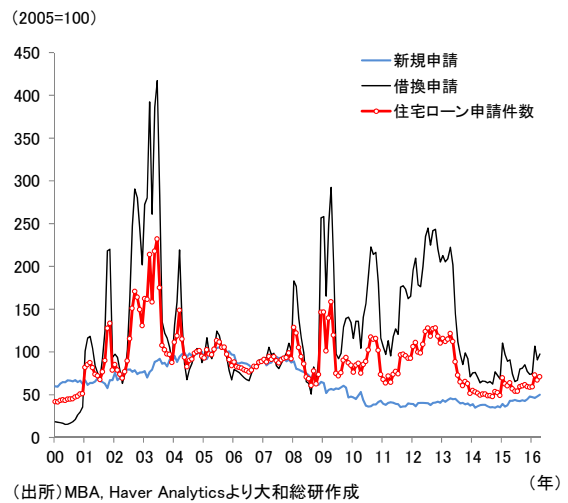
住宅市場

- ◆ 2016年3月の新築住宅着工（一戸建てと集合住宅を含む）は、前月比8.8%減の年率換算108.9万戸であった。
- ◆ 3月の中古住宅販売（一戸建て）は、前月比5.5%増の年率換算476万戸となった。
- ◆ 3月の新築住宅販売（一戸建て）は、前月比1.5%減と3ヵ月連続で減少し、年率換算51.1万戸となった。
- ◆ 2月のケースシラー住宅価格指数（20都市）は前月比0.7%上昇した。

住宅販売（一戸建て）



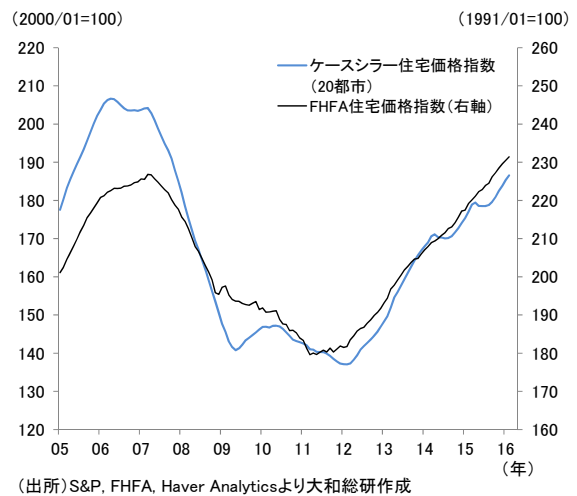
住宅ローン申請件数



住宅着工と建設業者の景況感



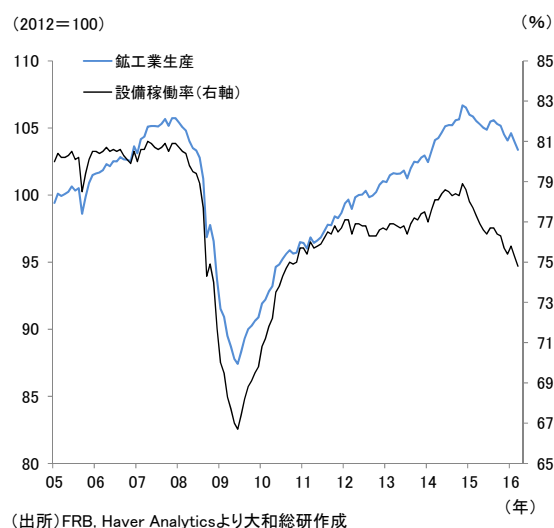
住宅価格



企業動向

- ◆ 2016年3月の鉱工業生産指数は前月比0.6%低下し、2ヵ月連続の低下となった。指数全体の約7割を占める製造業（SICベース）は同0.3%低下した。
- ◆ 3月の国防・民間航空機を除く資本財受注（コア資本財受注）は、前月比0.1%増と2ヵ月ぶりに増加した。
- ◆ 4月のISM製造業指数は、前月差1.0%ポイント低下の50.8%と4ヵ月ぶりに低下したが、基準となる50%を2ヵ月連続で上回った。非製造業指数は、前月から1.2%ポイント上昇し、55.7%であった。

鉱工業生産と設備稼働率



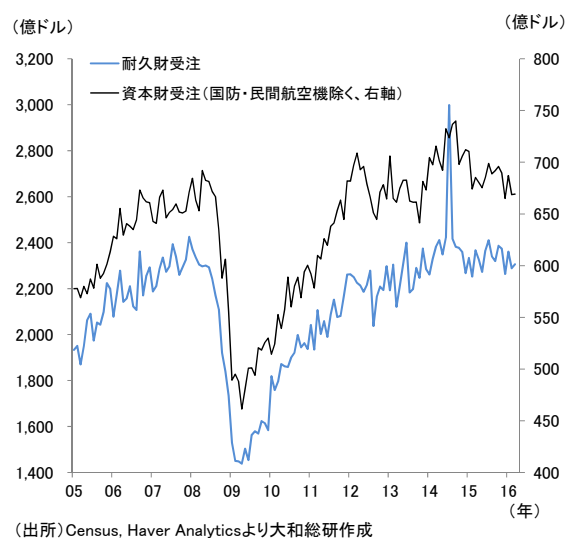
企業の景況感



製造業の出荷・在庫



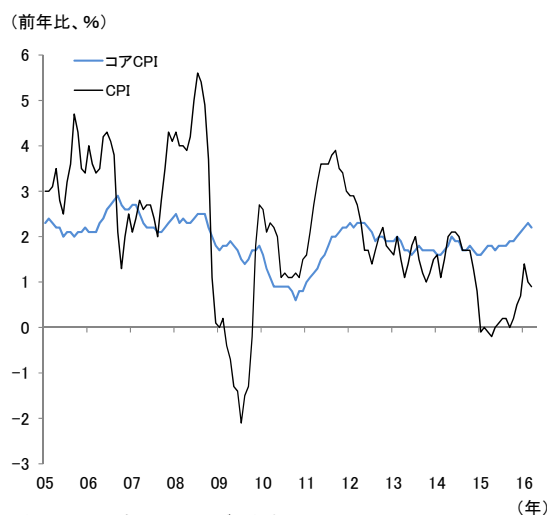
耐久財受注



物価動向

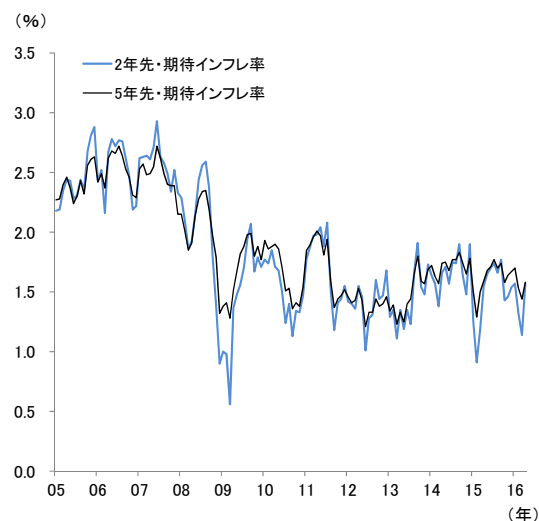
- ◆ 2016年3月のCPI（消費者物価指数）は前年比0.9%上昇と、上昇幅が前月から縮小した。また、コアCPIも同2.2%上昇と、前月から上昇幅が縮小した。
- ◆ 4月の2年先期待インフレ率は1.57%、5年先期待インフレ率は1.58%であり、いずれも前月から上昇した。
- ◆ 4月末のWTI原油先物価格は45.92ドル/バレルと、3月末の38.34ドル/バレルから上昇した。

消費者物価指数



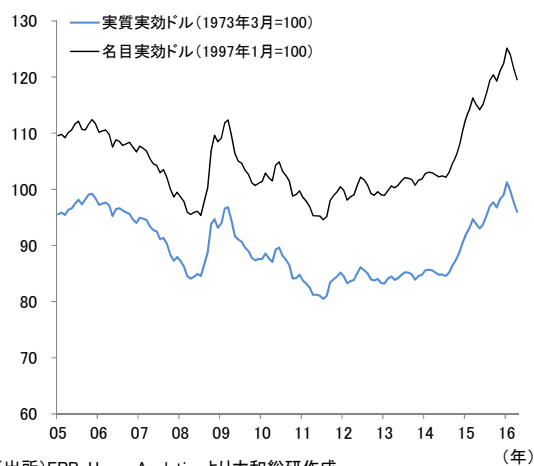
(注)コアCPIは食品、エネルギーを除く。
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

期待インフレ率



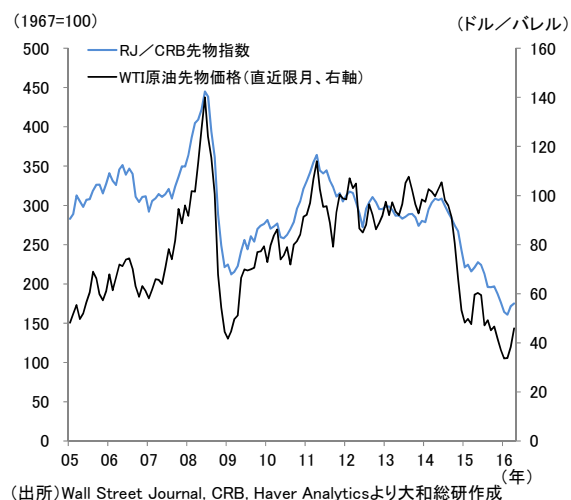
(出所)Cleveland Fed, Haver Analyticsより大和総研作成

実効為替レート(ブロード)



(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

コモディティ価格

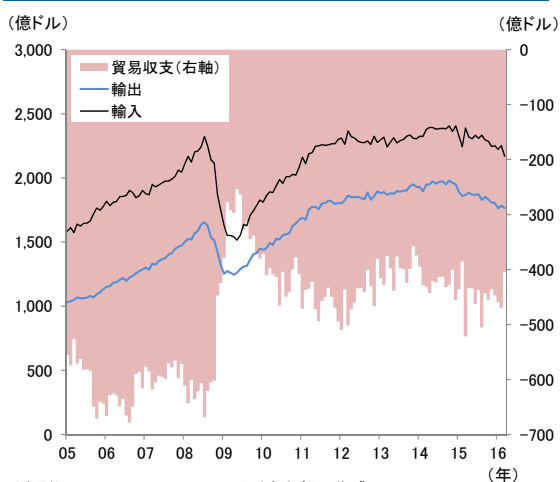


(出所)Wall Street Journal, CRB, Haver Analyticsより大和総研作成

輸出入・経常収支

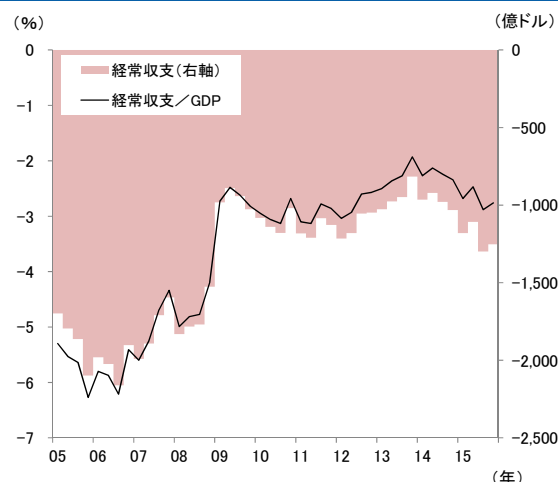
- ◆ 2016年3月の貿易収支（財・サービス）は、輸出が前月比0.9%減少し、輸入も同3.6%減少した。この結果、貿易赤字は前月から13.9%縮小し、約404億ドルとなった。
- ◆ 輸出入（財）を商品別に見ると、輸出では医薬品などの消費財が減少したほか、自動車・同部品、工業用品が減少した。一方の輸入は幅広い品目が減少する中、とりわけ消費財の減少が全体を下押しした。
- ◆ 地域別（財）では、欧州への輸出が前年比0.1%減少、中国向けが同9.5%減少、日本向けも同5.9%減少した。輸入は、欧州からの輸入が同0.9%増加したものの、中国からの輸入が同27.4%減少、日本からの輸入は同5.8%減少した。

貿易収支動向



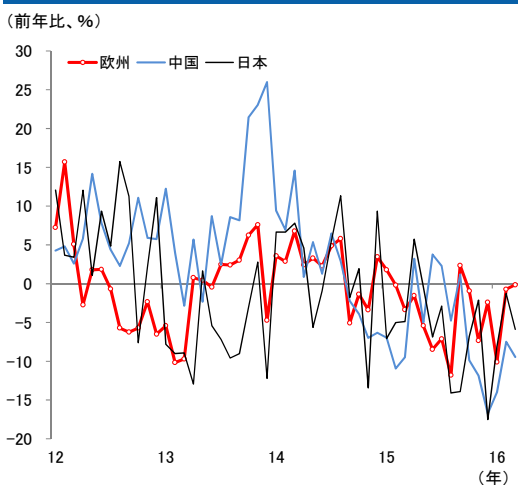
(出所) Census, Haver Analyticsより大和総研作成

経常収支の推移



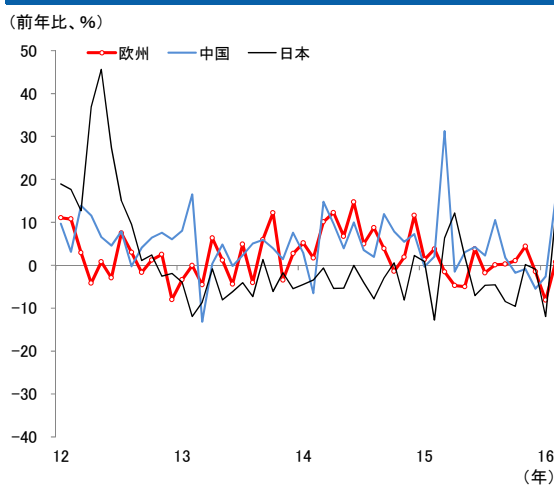
(出所) BEA, Haver Analyticsより大和総研作成

国・地域別輸出動向



(出所) Census, Haver Analyticsより大和総研作成

国・地域別輸入動向



(出所) Census, Haver Analyticsより大和総研作成

金融・財政

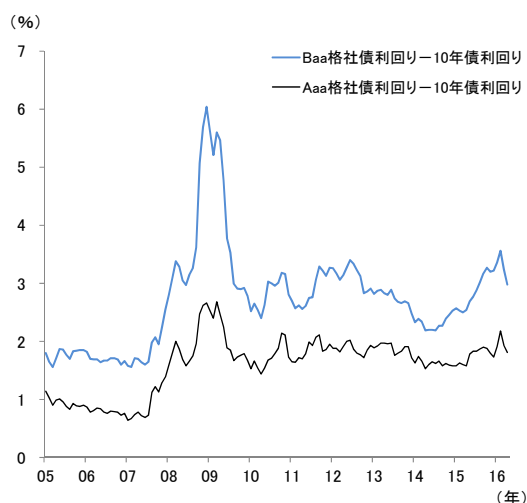
- ◆ 2016年4月のFOMC（連邦公開市場委員会）において、政策金利であるFF（フェデラルファンド）レートの目標レンジは据え置かれた。また、保有する資産規模については、現在の水準を維持することが決定された。FRBの資産残高は、直近の5月4日の週平均が約4兆5,200億ドルであった。
- ◆ 4月の長期金利（10年債利回り）の平均値は1.81%となった。均せば4月初旬から上昇傾向にあったものの、月末に低下したことで月次ベースでは前月から低下した。
- ◆ 連邦政府の財政収支（12ヵ月平均）は、トレンドとして緩やかに赤字幅が縮小している。

政策金利・長期金利



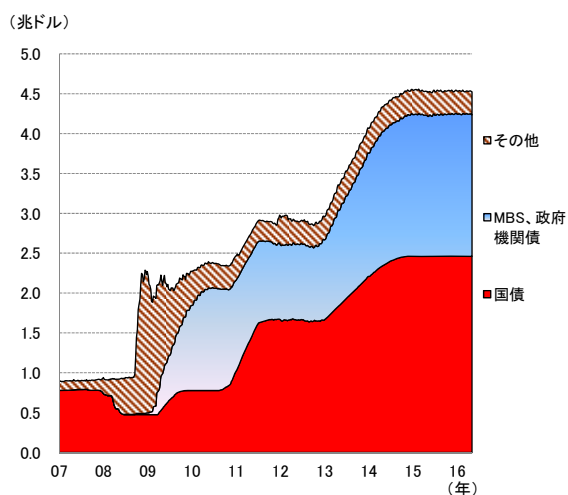
(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

クレジットスプレッド



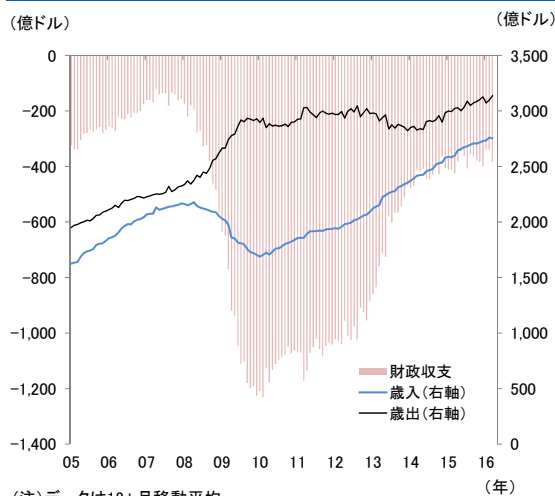
(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

FRBの資産構成



(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

連邦政府の財政収支



(注)データは12ヵ月移動平均。

(出所)米財務省, Haver Analyticsより大和総研作成